

# 資料





## 2. テニスコート

### (1) テニスコートの寸法

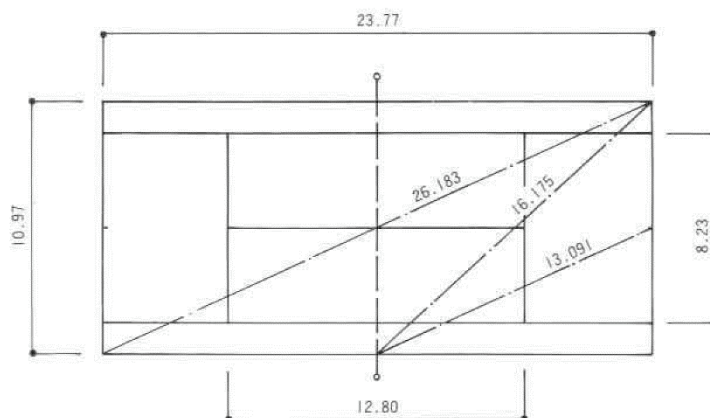
テニスの種類は、「硬式テニス」と「ソフトテニス」とに分けられる。硬式テニスは、世界的に広まっており、テニスの主流となっている。一方、ソフトテニスは、日本独自の規格であるが、小・中学校のクラブではソフトテニスが主流であり、レディース、高齢者の愛好家、プレイヤーも多く存在している。

硬式テニスの大会は多く開催されているが、ソフトテニスの大会の開催も多く、都道府県選抜対抗大会など全国大会も行われている。

多くのプレイヤーを呼び込むためには、「硬式テニス」と「ソフトテニス」の寸法規格を有したテニスコートを有することが望まれる。

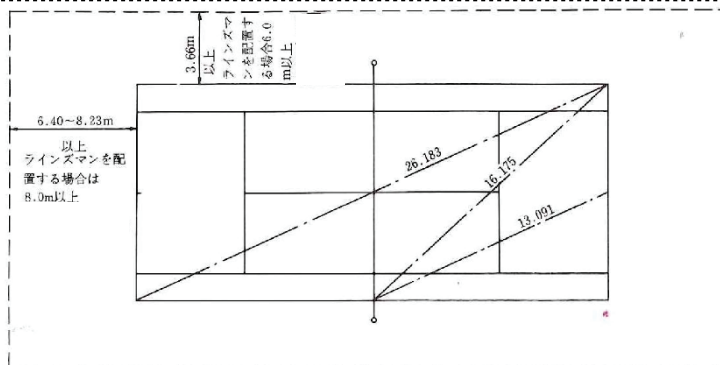
#### 1) 硬式テニスの寸法

- 硬式テニスコートの大きさは下図のとおり、シングルでは長辺 23.77m、短辺 8.23mで、ダブルスでは長辺 23.77m、短辺 10.97mとなっている



図資-1：テニスコートのラインの寸法

- テニスコートの周辺のスペースは下図のとおり、ベースラインから 6.40~8.23m以上（ラインズマンを配する場合は 8.0m以上）、サイドラインから 3.66m以上（ラインズマンを配する場合は 6.0m以上）となっている

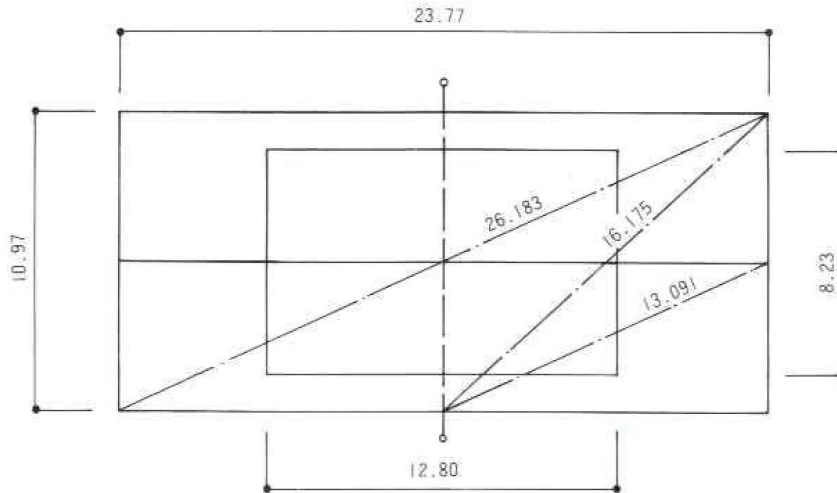


図資-2：テニスコートの余地のスペース

出典：屋外体育施設の建設指針（（公財）日本体育施設協会）

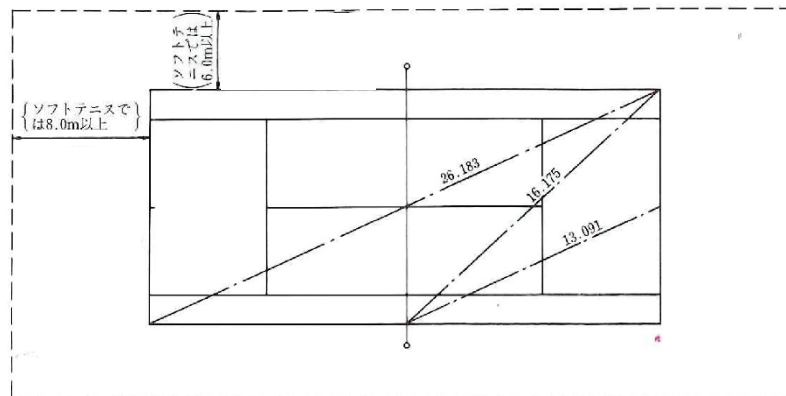
2) ソフトテニスの寸法

- ソフトテニスコートの大きさは下図のとおり、長辺 23.77m、短辺 10.97mで、硬式テニスのシングルのサイドラインを除いて、同じコートの大きさとなっている



図資-3 : テニスコートのラインの寸法

- テニスコートの周辺のスペースは下図のとおり、ベースラインから 8.0m以上、サイドラインから 6.0m以上となっている



図資-4 : テニスコートの余地のスペース

出典：屋外体育施設の建設指針（（公財）日本体育施設協会）

## (2) テニスコートの基準

本基準は、国体でのテニス競技を開催するに当たっての施設（恒久的施設、仮設的施設）関係の基準を定めたものである。

### ①国体競技での基準

#### ◇テニスコートの基準

表資-2：国体テニス競技の施設

	項 目	基 準
主会場	面数	20面とし、2会場に分かれても止むをえない。2会場の場合は24面以上とする。
	配置	メインコートは最低4面とするが、他は1ブロックあたり2面以上のものに分散してもよい。但し、競技運営会場、競技本部より見通しのできることが望ましい。
	大きさ等 コートサーフェス (舗装)	本文中(細則)、II-2、II-3、II-4による他テニス規則による。全天候型が好ましいが、既設のものを使用する場合はクレイコート等でも良い。 クレイコート等の場合はコート間に散水設備を設ける。
	コート照明	本文中(細則)、II-1-(2)-2による。
練習会場	面数	10面程度とし2~3会場に分かれてもよい。
	配置	会場はできる限り主会場或は宿舎に近接した所が望ましい。
	コートサーフェス (舗装)	主会場と同一のものが望ましいが、既設のものを使用する場合は異なるものでもよい。
室内コート	面数	荒天時の対策として3~4面を設置することが望ましい。
	建物	本文中(細則)、VI-4による他、テニス規則による。
	コートサーフェス (舗装)	主会場と同一のものとする。
	照明	本文中、II-1-(2)-2による。

※「本文中(細則)」とは、「国体テニス競技の施設基準による細則((公財)日本テニス協会)」を示す

#### ◇照明設備

照明設備は全テニスコートを対象に設置する。但し止むを得ない事情がある場合は、メインコートのみでもよい。詳しくは本文中(細則) VI-3 照明設備を参照。

- 屋外コートの照度は競技面上1mの高さで1面当たり750ルクス以上とする

#### ◇コートフェンス

- コートの周囲には、緩衝マット付コンクリート壁又は金網製や合成繊維製の防球フェンスを設ける。高さはバック方向が3m、サイド方向は観客席がある場合1m、ない場合は3mを原則とし、色はグリーン色とする。ボールがはね返らない構造とし、金網製の場合は高さ2mの目隠し用シート類を取りつける

## ②公式テニス競技のコート面数

- 国体においては、20面を確保し、開催することとなっている
- 公式トーナメントにおけるコート面の数は、試合用に8面、練習用に4面の計12面が必要とされ、一般的には下表の面数が望ましくとされている（参照：テニスコートの建設マニュアル・改訂第3版・（財）日本テニス協会）
- いずれにせよ、偶数のコート設置が必要条件となる

表資-3：トーナメント開催におけるコート面数

大会	コート面数
国際トーナメント	16～24面
全国トーナメント	12～20面
地区トーナメント	8～12面

出典：テニスコートの建設マニュアル・（公財）日本テニス協会

コート面の材質については、クレイ系、各種全天候型、人工芝等、多様な種類があるが、その選定においては特に規定は設けられていない。

## (3) テニスコートのサーフェス

## 1) クレイコート

土質材料を固めた地面に砂を撒いたサーフェスのことである。世界各国で開かれる主要な国際テニス競技大会では、アンツーカーを使ったレッドクレイを採用している大会が多い。代表的なものが、全仏オープンのセンターコートである。一方で、アメリカでは変成岩を砕いて敷いたグリーンクレイが良く用いられている。四大国際大会のひとつである全米オープンにおいても、かつて1975年から1977年にかけてグリーンクレイを採用していた。

クレイコートは足がスライドしやすく、特有のフットワーク技術を要求される。また、一般的には球速が遅いので、乱打合戦になりやすいため、総じてグラウンド・ストロークとフットワークが得意な競技者に最適なサーフェスとされる。



## 2) 砂入り人工芝コート

日本とオーストラリア、ニュージーランドにおいて広く普及しているコート。その他の地域ではかなり稀なサーフェスである。住友ゴム工業のオムニコートの他に、東レのスパックサンド、三菱化成のダイヤサンドなどがある。人工芝に砂をまき、適度に摩擦を軽減している。1990年代に急

速に普及し、日本における公営コートはほとんどこの砂入り人工芝となった。

クレイコートに近い使用感となっているが、ベースはハードコートであり、意外に疲労感が強いと言われている。球足は硬式テニスではハードより遅く弾まない。ソフトテニスではクレイより遅く、弾道は少々低めとなっており、選手育成の観点からは球速に課題を抱えている。

ただし、天候に左右されないという点においては他のサーフェスを圧倒しており、真の意味での全天候（オールウェザー）コートといえる。このコートにより、雨の多い日本において課題であった大会運営の負担が飛躍的に軽減された。また硬式テニスとソフトテニスの共存が可能である。ただし、硬式プレイヤーはハードを好み、ソフトテニスプレイヤーはクレイを好む傾向にあることも事実である。

砂入り人工芝は、その滑りやすさからケガも多く、日本以外では砂入り人工芝コートで行われる硬式テニスの公式戦はほぼ皆無であることからジュニアの成長の障壁と指摘されてもいる。さらに使用済みの人工芝は産業廃棄物となり環境問題の転移において、課題を残している。



### 3) ハードコート

セメントやアスファルトを基礎にして、多くの場合合成樹脂などでコーティングされて造られる。クレイコートに比べボールが速くなるため、速いサーブおよびストローク、優れたボレー技術を持つ選手に有利である。

一方、ソフトテニスでは摩擦が大きく、ボールがバウンドした後に減速するため、強打主体の選手には不利となる。またその摩擦の大きさを利用したカットサーブが有効になる。さらに、ボールの摩耗が激しい点もあげられる。

4 大会においては、全豪オープンでは 1987 年より、全米オープンでは 1978 年より使用されている。

ハードコートは、プレイヤーに与える衝撃が大きく、アマチュアプレイヤーには身体的負担が大きい。そのため、ハードコート用とされるテニスシューズは他のコートで使用するためにつくられたものに比べ底が厚くなっている。

ハードコートは、他のコートに比べると比較的維持・管理に手間が掛からない。そのため、レジャー施設にテニスコートを設置する際、ハードコートを採用する場合が最も多くなっている。



### 4) 人工クレイコート

人工クレイは、テニス競技の特性を求めるテニス指導者や競技者の要望の高まりにより欧州で開発されたサーフェスである。日本においては、凹凸のある高密度凹凸構造ニードルフェルトに、微



資料

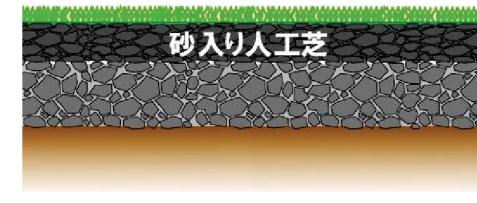
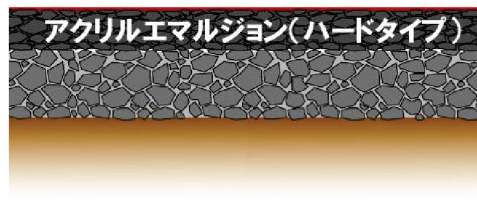

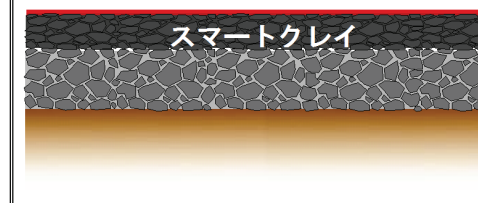
粒子のガーネット（石榴石）クレイを敷均したもので、日本の気候風土にもあわせ排水性もよく、在来のクレイコート欠点を克服した維持管理の容易な新しいサーフェスである。

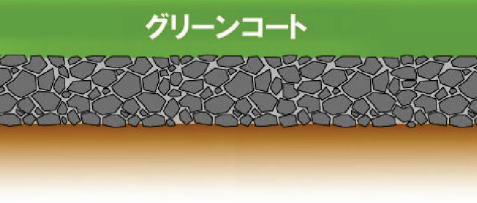
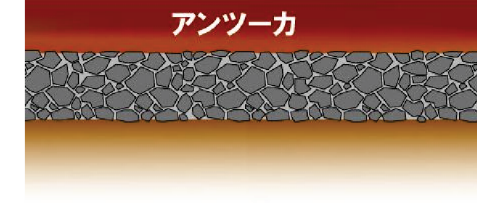
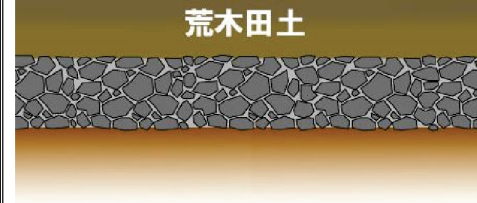
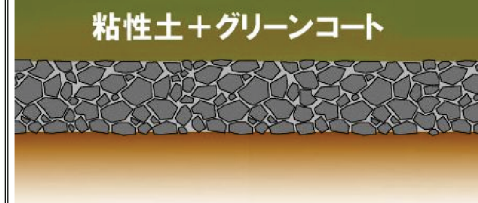
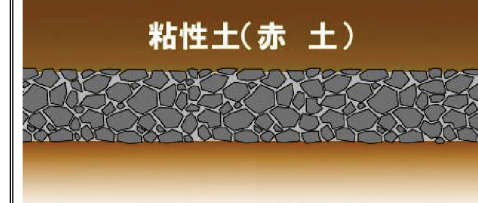
ガーネットクレイは、ダイヤモンドに次ぐ硬度を持つ天然鉱石で、砂入り人工芝に用いる珪砂と比べ、摩耗や破砕が大幅に低減され、比重も珪砂の1.5倍有り、クレイ等に見られる粉塵の発生、飛散を最大限抑えたものとなっている。また、排水性もよく、ガーネットクレイの粒子が大きいいためクレイでのプリエのように衣服、施設を汚すことがない。

人工ではあるものの、十分にクレイコートの特性を有しており、砂入り人工芝と比べ、ボールのコントロール性がよく、硬式テニスでは打球が遅めのストロークプレイが楽しめ、ソフトテニスにおいては一転して早いバウンドの高レベルのゲームが可能となる



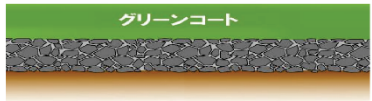
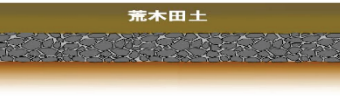
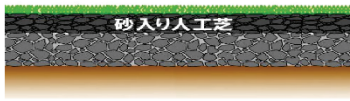
表資-4：主なテニスコートサーフェスの比較

	全天候系 人工芝 砂入り人工芝	全天候系 エマルジョン系 アクリルタイプ (ハード)	全天候系 エマルジョン系 アクリルタイプ (セミソフト)	全天候系 ポリウレタン系	全天候系 人工クレイコート
舗装断面					
概要	芝丈20mm前後の人工芝に砂を充填したもので、透水・非透水型がある。	アクリル樹脂をアスコンに塗布したもので、厚さは1mmが標準。クッション性はほとんど無い。	クッション材を混合したアクリル樹脂をアスコン上に塗り重ねたもので、厚さは3mmが標準。	弾塑性・耐久性に優れたウレタン樹脂をアスコン上に流し込み、硬化させたもので、厚さは5～10mmが標準。	アスコン上にニードルフェスト構造の基布を貼り、カラーコートサンドを敷き詰めたもの。厚さは8.5mmで透水性。
バウンド速度	やや遅い	速い	速い	速い(表面仕上げで調整可能)	やや遅い
バウンドの均一性	均一	均一	均一	均一	均一
プレーへのラインの影響	無し	無し	無し	無し	無し
垂直方向の衝撃吸収	大	小	中	大	大
水平方向の衝撃吸収	大	小	小	小	大
降雨後の回復	早い	早い	早い	早い	早い
照り返し	小	大(色による差が有り)	大(色による差が有り)	大(色による差が有り)	小
カラーリング	グリーンの濃淡(3色程度)が主	バリエーションが豊富	バリエーションが豊富	バリエーションが豊富	レッド、グリーン
維持管理	使用後のブラッシング程度	ほとんど不要	ほとんど不要	ほとんど不要	使用後のブラッシング程度
表層材(直接工事費)	6,000円/㎡ t=19mm	3,500円/㎡ t=1mm	4,700円/㎡ t=3mm	12,900円/㎡ t=7mm	12,000円/㎡ t=8.5mm

	クレイ系 人工土 緑色スクリーニングス	クレイ系 人工土 アンツーカー	クレイ系 単一土 荒木田土	クレイ系 混合土 粘性土・スクリーニングス混合	クレイ系 単一土 粘性土(赤土)
舗装断面					
概要	緑泥片岩を粉砕し粒度調整した人工土で、厚さは50～80mmが標準。水はけが良く、クラックも生じない。	粘性土を焼成して多孔質とした人工土で、厚さは50～80mmが標準。降雨後も軟弱になりにくい。	埼玉県内で産出されるシルト質粘土で、厚さは50～80mmが標準。乾燥時にクラックを生じやすい。	粘性土にグリーンコートを加えて、粘性土の泥濘化を抑え、防塵性を高めたもので、厚さは100mmが標準。	各地域で産出される火山灰土で粘性が強い。粘性が強すぎる場合は砂を混合して使用されることが多い。
バウンド速度	遅い	遅い	遅い	遅い	遅い
バウンドの均一性	均一(維持管理が必要)	均一(維持管理が必要)	均一(維持管理が必要)	均一(維持管理が必要)	均一(維持管理が必要)
プレーへのラインの影響	有り	有り	有り	有り	有り
垂直方向の衝撃吸収	大	大	大	大	大
水平方向の衝撃吸収	大	大	大	大	大
降雨後の回復	やや早い	やや早い	遅い	遅い	遅い
照り返し	小	小	中	小	小
カラーリング	緑色	赤茶色	ベージュ色	薄いダークグリーン	茶色
維持管理	使用後のブラッシングと転圧	使用後のブラッシングと転圧	使用後のブラッシングと転圧	使用後の不陸修正、ブラッシング、転圧	使用後の不陸修正、ブラッシング、転圧
表層材(直接工事費)	2,850円/㎡ t=70mm	8,800円/㎡ t=70mm	3,020円/㎡ t=170mm(表層+中層)	3,500円/㎡ t=100mm	2,300円/㎡ t=100mm

※ 表層材の㎡当たり単価は表層材のみを示す

表資-5：テニスコートサーフェスの比較（砂入り人工芝舗装とクレイ舗装）

		テニスコート舗装				
		グリーンコート	荒木田土	砂入り人工芝		
舗装断面						
	※緑色スクリーニング舗装(グリーンコート舗装) 【ダスト系舗装】グリーン系の色付き軟岩(天然)である緑泥片岩を粉砕させ、粒度を調整させた舗装材。	※荒木田土舗装 【粘質土系舗装】粘土分や砂分が適度に含まれ、破壊しにくく、平滑性を保つことのできる舗装材。	※砂入り人工芝舗装 【充填型人工芝舗装】人工芝のパイル(葉茎)の空隙に珪砂を充填することによって、天然芝とクレイの感触に近付けた全天候型舗装材。			
排水性 (降雨時の安定性)	降雨時の表面の安定性が高いため、適切な表面勾配を取ることによって、排水性は良好。	◎	表面の平坦性が十分であれば良。降雨後の使用再開までにはやや時間を要する。	△	透水の効果が高く、降雨後すぐの使用が可能。	◎
硬さ クッション性	良く締め固まる。原石が軟らかいため、他のダスト系舗装材に比べ弾力性がある。	○	過度に乾燥しない限り弾力性は高い。	○	砂を充填しているため、天然芝とクレイの感触に近いクッション性である。	△
防塵性	比重の大きい原石のため飛散しにくく、防塵性は高い。	○	表面の転圧などの管理が十分であれば高い。	○	比重の大きい特殊調整珪砂を充填しているため、珪砂の飛散はほとんどない。	◎
維持管理	平坦性は維持しやすいが、定期的な維持管理は必要となる。雑草は生えにくい。	○	日常管理が必要。	△	使用後にブラッシングが必要である。必要に応じて珪砂の補充が必要である。	◎
その他の特徴	グリーンの色彩が美しく、目が疲れにくい。		過度に乾燥するとひび割れを生じる。関東地方で古くから普及している。		日本国内の全天候型舗装のテニスコートでは、非常に実績が多い。使用頻度の激しい部分はパイルの消耗が顕著である。部分補修を行った場合、既設と新設の張り替えた境界部分に多少の段差が生じる。	
主な用途	テニスコート・陸上競技場・多目的グラウンド		テニスコート		テニスコート・フットサルコート・多目的グラウンド	
標準舗装厚 (多目的)	t=70mm(表層) t=100mm(砕石路盤)		t=50mm(表層) t=100mm(中層) t=100mm(砕石路盤)		t=19mm(表層) t=50mm(アスファルト舗装) t=150mm(砕石路盤)	
m <sup>2</sup> 当たり単価 (表層)	3,600円/m <sup>2</sup> (路床整正～砕石路盤～表層～表面処理)		3,800円/m <sup>2</sup> (路床整正～砕石路盤～中層～表層～表面処理)		8,600円/m <sup>2</sup> (路床整正～砕石路盤～アスファルト～表層)	
総合評価	○		△		◎	

※表層材のm<sup>2</sup>当たり単価は表層のみを示す

表資-6：総合体育館事例

体育館名	所在地	所在地人口	施設内容	写真	体育館名	所在地	所在地人口	施設内容	写真
浦安市総合体育館	千葉県浦安市	16.3万人	<ul style="list-style-type: none"> <li>メインアリーナ：49×37m (1813㎡)・固定観客席1010席</li> <li>サブアリーナ：36×24m (840㎡)</li> <li>第一武道場：17×18m (306㎡)・171畳・柔道場</li> <li>第二武道場：17×18m (306㎡)・剣道場</li> <li>弓道場</li> <li>研修室</li> <li>トレーニング室</li> <li>多目的室：14×12m (168㎡)</li> <li>卓球室：4台</li> <li>ランニング走路：1周200m</li> <li>幼児室</li> <li>談話室</li> </ul>		スカイホール豊田	愛知県豊田市	42.3万人	<ul style="list-style-type: none"> <li>メインホール：80×45m (3600㎡)・観客席4450席 (移動980席)</li> <li>サブホール：36.9×47.3m (1745㎡)</li> <li>武道場：28.9×14.3 (413.3㎡)・剣道場</li> <li>28.9×16.7m (482.6㎡)・柔道場</li> <li>28.9×16.1m (465.3㎡)・多目的</li> <li>多目的ルーム：350㎡</li> <li>トレーニングルーム：289㎡</li> <li>スタジオ：95㎡</li> <li>会議室：大会議室 (150人)・中会議室 (72人)・研修室 (20人×2室)</li> <li>クライミングウォール：高さ11m、幅8m</li> <li>ランニングコース：一周365m</li> </ul>	
墨田区総合体育館	東京都墨田区	25.6万人	<ul style="list-style-type: none"> <li>メインアリーナ：57×38m (2166㎡)</li> <li>サブアリーナ：24×38m (912㎡) → メインと可動間仕切り：合計3078㎡・観客席1500席</li> <li>武道場：17×38m (612㎡)</li> <li>トレーニングスタジオ</li> <li>屋内プール：25m×7コース・幼児用プール</li> <li>会議室：3部屋</li> <li>ランニング走路：1周260m</li> </ul>		福山市体育館	広島県福山市	47.2万人	<ul style="list-style-type: none"> <li>メインアリーナ：50×37m (1850㎡)・観客席約5000 (固定席2156席・車椅子スペース18席・可動席1152席・仮設椅子席約1700席)</li> <li>サブアリーナ：31×24m (744㎡)</li> <li>格技室：34×18m (612㎡)・2分割</li> <li>弓道場</li> <li>エクササイズスタジオ：12.7×12.6m (160㎡)</li> <li>トレーニング室</li> <li>研修室：319㎡</li> <li>会議室：会議室1 (34㎡)・会議室2 (52㎡)</li> </ul>	
熊本市立総合体育館	熊本県熊本市	32.8万人	<ul style="list-style-type: none"> <li>大体育室：50.4×36m (1814㎡)</li> <li>中体育室：43.9×32.8m (1439㎡)</li> <li>小体育室：22×19.2m (422㎡)</li> <li>温水プール：25×6コース</li> <li>トレーニング室：622㎡</li> <li>元気体力測定室：370㎡</li> <li>キッズルーム：82㎡</li> <li>会議室：45人収容×3部屋</li> <li>和室：21畳</li> </ul>		松戸運動公園体育館・武道館	千葉県松戸市	48.1万人	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体育館</li> <li>競技場：約43×34m (約1462㎡)</li> <li>卓球場：258㎡</li> <li>弓道場</li> <li>小体育館</li> <li>多目的室</li> <li>トレーニング室</li> <li>○武道館</li> <li>柔道場：152畳</li> <li>剣道場：約252㎡</li> <li>多目的室・会議室 (約20人×3室)・和室 (9畳×2室)</li> </ul>	
あずま総合体育館	福島県福島市	32.8万人	<ul style="list-style-type: none"> <li>大体育室：50.4×36m (1814㎡)</li> <li>中体育室：43.9×32.8m (1439㎡)</li> <li>小体育室：22×19.2m (422㎡)</li> <li>温水プール：25×6コース</li> <li>トレーニング室：622㎡</li> <li>元気体力測定室：370㎡</li> <li>キッズルーム：82㎡</li> <li>会議室：45人収容×3部屋</li> <li>和室：21畳</li> </ul>		松山市総合コミュニティセンター	愛媛県松山市	51.6万人	<ul style="list-style-type: none"> <li>メインアリーナ：50.7×40.2m (2038㎡)・観覧席880席+貴賓席</li> <li>サブアリーナ：18.6×36m (670㎡)</li> <li>プール：25m×7コース・幼児用プール</li> <li>ラケットボールコート</li> <li>トレーニングルーム</li> <li>フィットネスルーム</li> <li>会議室：42席・ミーティングルーム：24席</li> </ul>	
豊中市立千里体育館	大阪府豊中市	39.5万人	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1競技場：48×36m (1728㎡)</li> <li>第2競技場：36×22m (792㎡)</li> <li>第3競技場：128畳</li> <li>トレーニング室</li> <li>会議室</li> </ul>		ブレックスアリーナ宇都宮	栃木県宇都宮市	51.7万人	<ul style="list-style-type: none"> <li>主競技場：38×50m (1900㎡)</li> <li>副競技場：28×34m (952㎡)</li> <li>武道場：22×27m (594㎡)</li> <li>トレーニング室</li> <li>幼児体育室：17×8m (136㎡)</li> <li>会議室：100人収容・控室18人収容×2室</li> </ul>	
枚方市立総合体育館	大阪府枚方市	40.9万人	<ul style="list-style-type: none"> <li>メインアリーナ：1789㎡・観客席</li> <li>サブアリーナ：460㎡</li> <li>第一武道場：385㎡ (板張り)</li> <li>第二武道場：385㎡ (畳張り)</li> <li>卓球場：205㎡</li> <li>トレーニング室：129㎡</li> <li>第1会議室：40㎡</li> <li>第2会議室：60㎡</li> </ul>		相模原市総合体育館	神奈川県相模原市	71.75万人	<ul style="list-style-type: none"> <li>大体育館：61.5×36m (2214㎡)・観客席1598席</li> <li>中体育館：34×31.3m (1064㎡)</li> <li>小体育館：34×18.5m (629㎡)</li> <li>柔道場：16×30m (480㎡)・256畳</li> <li>剣道場：16×30m (480㎡)</li> <li>トレーニング室</li> <li>弓道場</li> <li>ジョギングコース：224m</li> <li>会議室：大会議室 (7.3×12m)・小会議室 (7.3×6m)</li> </ul>	
岐阜市総合体育館	岐阜県岐阜市	41.6万人	<ul style="list-style-type: none"> <li>競技場：40×27m (1080㎡)</li> <li>剣道場・柔道場</li> <li>格技場</li> <li>弓道場・射撃場</li> <li>卓球場・相撲場</li> <li>トレーニングルーム1,2</li> <li>会議室1,2</li> </ul>		富山市総合体育館	富山県富山市	42.0万人	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1アリーナ：44×57.6m (2534㎡)・観客席4650席</li> <li>第2アリーナ：38.5×30m (1155㎡)・観客席200席</li> <li>フィットネスルーム：979㎡</li> <li>体操練習場：800㎡</li> <li>弓道練習場：470㎡</li> <li>ボクシング室：127㎡</li> <li>卓球練習場：卓球台3台</li> <li>ランニングコース：第一コース300m・第二コース140m</li> <li>研修室：74㎡</li> </ul>	

## 3. 用語

## あ


アクアピクス	アクア（水）とエアロピクス（有酸素運動）を合わせた和製英語であり、水泳を除く水中トレーニングのこと。
アクセス	目的地に近づく手段やその通路、道路などの意味。
アリーナ	傾斜がある階段状の観客席に全周またはほぼ全周を囲まれた、闘技場・競技場・劇場などの施設。
市川スポーツガーデン	市川市における地域のスポーツクラブの形態。地域において、子どもから高齢者・障害者までを含む、様々なスポーツを愛好する人々が参加できる、複数のスポーツを対象とし、初心者からトップレベル、楽しみ志向者から競技会志向者まで様々な年齢、興味・関心、技術、技能の保有者などが参加した総合的なスポーツクラブのこと。
一財	一般財団法人の略。一定の要件を満たしていれば、事業目的に公益性がなくても設立できる法人。
一社	一般社団法人の略。一定の要件を満たしていれば、事業目的に公益性がなくても設立できる法人。
インストラクター	指導員。工業技術、スポーツなどの分野に於いて様々な指導を行う立場の者をさす。主に、指導者用の教育を経てインストラクターの資格を有することとなる。
インパクト	物理的、あるいは心理的な衝撃。また、その影響や印象。
ウインドサーフィン	波乗りボードのような専用の道具を使用して、風を受けた帆に発生する揚力と重力により波の斜面を滑り降りる推進力を主な動力源として水面を滑走する水のスポーツ。
web サイト	「ウェブページ」「ホームページ」などともいわれる。「ウェブ」は「ワールド・ワイド・ウェブ(WWW)」の「web」(原語の意味は「クモの巣」)で巨大なネットワークであるインターネット網の「網」の部分の指しているが、ほとんどインターネットと同義。
ウォータスポーツ	水上または水中で行うスポーツのこと。
Vリーグ	日本におけるバレーボールの競技連盟。
Fリーグ	日本におけるフットサルの競技連盟
エリア	地域、地方、地区、区域など特定の場所を示し、広さには関係なく1つの地域を表わす。
園地	公園・庭園などになっている土地をさし、ここでは芝生広場などを指す。
エントランス	入口や建物の玄関。
オープンスペース	建造物の建っていない広がりある場所のことで、公園や緑地と同等の言葉として使用する場合もある。

## か

ガイドライン	法的拘束力はないものの、国や自治体などが関係者らが取り組むことが望ましいとされる指針や、基準となる目安などを示したものの。
カヌー	元来は、カリブ海周辺の小型舟艇の名称であるが、現在では、櫂で水を掻き、前進する小型の舟を指すのが一般的。
キーワード	物事に対して重要な手掛かりとなる言葉。
ギャップ	隙間、間隔、段差、差異などを意味する。本構想では、主に差異を示す。
協働	複数の主体が、ある同じ目的のために、対等の立場で協力して共に働くこと
クラブハウス	スポーツや娯楽などのスポーツ施設における会員や利用者のための諸設備のある建物。
クラブマネージャー	個々では、スポーツクラブを運営する経営能力を有する専門的な人材を指す。
クリーンスパ市川	千葉県市川市上妙典にあり、隣接するゴミ処理施設のクリーンセンターからの余熱を利用する環境に配慮した天然温泉、プール、フィットネスジムなどがある多目的温浴施設
公財	公益法人の略。公益を目的とする事業を行う法人。
コミュニケーション	社会生活を営む人間が互いに意思や感情、思考を伝達し合うこと。社会、集団、人とのつながりを持つことを言う場合もある。
コミュニティ	「同士・同志の集団」「共同体」「目的を共有している仲間」のこと。社会、集団、人とのつながりある状態を指すこともある。
コンセプト	概念、観念や創造された作品や商品の全体につらぬかれた、骨格となる発想や観点のこと。

## さ

サービスヤード	台所に面した庭の一部で、物干しなどの家事を行う場所や荷物・材料などの搬出入などに用いる空間。本構想では、後者を指す。
サーフェス	表、表面の意味で、単独で用いる場合は、テニスコートの舗装表面について言うことが多い。
里地・里山	農山漁村集落、農耕地、薪炭生産など、人との深い関わりを有したクヌギ・コナラ林などの林で構成された地域。
市街化調整区域	原則として市街化を抑制する区域であり、市街化を促進させるような開発等は規制される。市川市では、都市におけ

	る貴重な緑空間を保全するため、梨畑を主とする優良農地や樹林地が広がる北部地域、貴重な自然環境の残る江戸川河川敷や行徳近郊緑地等を市街化調整区域としている。
持続可能	地球環境が、生態系が生存できる環境を維持できること
生態系	ある地域に生息するすべての生物群集と、それを取り巻く環境とを包括し、生き物同士の食うもの、食われるものとしての食物連鎖に組み込まれた自然のシステム。
生物多様性	あらゆる生物種(動物、植物、微生物)と、それによって成り立っている生態系、さらに生物が過去から未来へと伝える遺伝子とを合わせた概念
総合型地域スポーツクラブ	人々が、身近な地域で多様なスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、子どもから高齢者まで、様々なスポーツを愛好する人々が、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブを言う。
ソフト	感触・印象などが、優しくて柔らかなさま。また、ハード（物理的な物で建物や設備など）に相対する言葉で、一定の形のないものを指し、人やアイデア・企画など。
ゾーニング	建物の空間や敷地などに対して、いくつかの機能や用途をまとめて、目的ごと効率的に配置、区分すること。
ゾーン	一定の領域を示す区域、範囲、地帯、領域、圏、域などの意味。
	
第一種低層住居専用区域	低層住宅の良好な住環境を守るため、用途地域の中で最も厳しい規制がかけられている都市計画法で定められた地域。
耐用年数	建物・機械など固定資産の税務上の減価償却を行うにあたって、減価償却費の計算の基礎となる年数。転じて、建物・機器などが使用に耐える年数。
WHO	健康を基本的人権の1つと捉え、世界のすべての人々を健康にすることを目的に健康分野での様々な事業を展開する国連機関
T.P.	T. P. は東京湾平均海面（東京湾中等潮位＝いわゆる海拔）を意味している。T. P. は1873（明治6年）から1879（明治12年）の潮位記録を平均した数値 A. P. +1. 1344m を T. P. ±0. 0m と定めたものである。A. P. は Arakawa peil の略で、荒川工事基準面と言ひ、東京都中央区新川にある霊岸島水位観測所の最低水位をもって定めている。
動線	建物や都市において、人が動く時に通る経路を線であらわ

	したもの。
都市公園	都市公園法に基づき指定された公園。国または地方公共団体が一定区域内の土地の権原を取得し、目的に応じた公園の形態を創り出し、一般に公開する公園を指す。
トレッキング	登頂を目指すことを目的とする登山に対し、トレッキングは特に山頂にはこだわらず、山の中を歩くことを目的としている。
トレーニング	身体運動を行うことによって意志力を含めた人間の体力を高めること。もしくはその過程をいう。

な

ニーズ	欲求、要求、需要を指し、「これが欲しい」と具体的、明確にわかる顕在ニーズとまだ気付いていない、または明確に表現できず、多くの場合、商品を見て初めて「こんなものが欲しかった」と気付く潜在ニーズとがある。
人間形成	人間は、成人になるために長い間の学習期間を必要とし、その長期の過程を人間形成過程という。
ネットワーク	複数の要素が互いに接続された網状の構造体のことで、人や組織、施設、機能などのある広がりをもったつながりを指すときもある。
ノウハウ	ある専門的な技術やその蓄積のこと。技術競争の有力な手段となり得る情報・経験。

は

パートナーシップ	市民、事業者、市などや異なる人や組織同士の対等な関係に基づく共同作業によって、課題解決の枠組みをつくること。
バリアフリー	障害者を含む高齢者等の社会的弱者が、社会生活に参加する上で生活の支障となる物理的な障害や、精神的な障壁を取り除くための施策、若しくは具体的に障害を取り除いた事物および状態を指す用語
bjリーグ	日本におけるプロのバスケットボール競技団体。
フィールド	野原、競技場、現場など場所や領域を意味する。本構想では、競技場、場所を示す。
フィットネス	健康や体力の維持・向上を目的として行う運動。
フロアサイズ	床や部屋などの大きさ。
プログラム	ある物事の進行状態についての計画や予定や演劇・映画・音楽会・テレビなどの演目、曲目などで、出演者の紹介、解説などを印刷した小冊子や番組表やコンピューターへ指示する計算や仕事の手順を特定の言語や形式で書いたものやそれをつくることを言う。本構想では、各種スポーツに対する計画や教室、イベントなどの意味を示す。



ホームチーム	プロ野球・サッカー・バスケットボールなどで、その試合を行う球技場を本拠地とするチーム。地元チーム。
保全	自然環境について使われる言葉で、大きく、保護、保全、利用の三つの考え方を基本としている。保護は、現状の維持を大きな目的として、一切手を入れないことが基本となっているが、対象となる動植物の生息・飼育環境が悪化する恐れのある場合には、環境改善の方策を行うこともある。保全は、現在の自然環境の継続に配慮しながら、散策や観察などの軽度の利用を許容していくことで、そのためには、対象となる環境がある程度利用に耐えられることが条件となる。利用は、対象と餌環境の代替えが可能と判断されたときに施設の整備などによりゆこうにその環境を活用することを言う。
ポテンシャル	潜在的な能力、可能性として持つ力。
ボランティア	自主的に無償で社会活動などに参加し、奉仕活動をする人を指す。
<b>ま</b>	
マウンテンバイク	山や丘などで走るための自転車。軽量で堅牢なフレーム、溝の深いタイヤ、直線状のハンドル、多段変速ギヤなどが特徴。山や丘などを自転車で走る行為自体を指すこともある。
<b>や</b>	
谷津地	丘陵地が長い時間をかけて浸食され形成された谷状の地形の土地。他に、谷戸、谷津、谷地などと呼ばれる。
<b>ら</b>	
緑地	「緑地」とは、法や条例、協定等により永続的に担保される空間を意味し、大きく分けて「施設緑地」と「地域性緑地」に整理される。「施設緑地」は、住民の利用可能な公園、緑地やこれに準じた公共施設や民間施設等を位置づけられ、「地域制度緑地」は、法的に一定の区域の緑を保全するものとして位置づけられている。
ルクス	国際単位系における照度の単位。月明かりが 1 ルクス、ろうそくの炎が 10 ルクスとも言われる。
レイアウト	デザイン、建築設計、都市計画、インテリア、展示会場、書籍・雑誌・新聞などの編集等において、何をどこにどのように配置（割り付け）するかということ。また、そのような配置（割り付け）をする行為も意味する。
レクリエーション	仕事・勉強などの肉体的・精神的疲労を癒やし、元気を回復するために休養をとったり娯楽を行ったりすること。また、その休養や娯楽という言葉自体も指す。

## 4. 写真出典

- \*1 : 市川市HP・<http://www.city.ichikawa.lg.jp/pub05/1521000002.html>
- \*2 : フィットネスクラブ・<http://www.ys-fitness.jp/program.php>
- \*3 : ノルディックウォーキングネットワーク・<http://nordic-walking.main.jp/index.html>
- \*4 : スポーツプラザ進化塾 <http://www.kurihara.ac.jp/shinkajuku/jym.html>
- \*5 : 市川市HP・<http://www.city.ichikawa.lg.jp/pub06/1531000003.html>
- \*6 : ジョギング : ジョギング同好会やじろべー・  
<http://tmj.way-nifty.com/mitsuicoachblog/2010/06/post-b751.html>
- \*7 : 鎌ヶ谷市老人クラブ連合会・<http://rouren.jp/kamagaya/archives/359>
- \*8 : 株式会社中村製作所カタログ
- \*9 : フィットネスクラブ レスポ大樹 瀬戸店・<http://www.golf-club-daiju.com/SetoLespo/>
- \*10 : トレーナー小田純也ブログ・<http://j-pct.blogfit.jp/>
- \*11 : ゆらっき日記ブログ・<http://blogyuragi.blog41.fc2.com/blog-entry-228.html>
- \*12 : 豊明市福祉体育館・<http://toyooke-fukushi-taiiku.com/>
- \*13 : 小瀬スポーツ公園・[http://www.kose-sp.pref.yamanashi.jp/events/index.php?content\\_id=3](http://www.kose-sp.pref.yamanashi.jp/events/index.php?content_id=3)
- \*14 : 広島五日市ジュニアラグビースクール・  
<http://itsukaichi-jr-rugbyschool.blogspot.jp/2010/11/2010-11-23.html>
- \*15 : コーラ・デ・カバーリョブログ・<http://youcolon.exblog.jp/19866452>
- \*16 : メディカルフィットネスいしだ・<http://www.ishida.or.jp/mf/>
- \*17 : NKS-405 バスケットコート・[http://www.nks-405.co.jp/eve\\_special.php?q\\_event\\_id=110](http://www.nks-405.co.jp/eve_special.php?q_event_id=110)
- \*18 : ランドスケープデザイン誌
- \*19 : アピアスポーツクラブ・<http://www.apa-sports.com/sp/program/swim/>
- \*20 : 市川市てづかテニススクール・[http://ypage.tennis365.net/ypage/index\\_detail.html?ypage\\_id=696](http://ypage.tennis365.net/ypage/index_detail.html?ypage_id=696)
- \*21 : ビッグツリススポーツクラブ・<https://www.bigtree-net.jp/sakura/facility.html>
- \*22 : シャイア福祉法人太陽の家・アピアスポーツクラブ・<http://www.taiyonoie.or.jp/place/beppu/pool>
- \*23 : 神戸学院大学テニス部・<http://www.kobegakuin-tennis.com/?p=4569>
- \*24 : ガーデニングシティ市川 : 市川市HP・<http://www.city.ichikawa.lg.jp/gci/>
- \*25 : さばえスポーツクラブ・<http://sabae-sc.or.jp/reports/archives/323/>
- \*26 : スポーツと文化 : 文部科学省 [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/sports/athletic/070817/001.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/athletic/070817/001.htm)
- \*27 : 第13回岩淵グランドゴルフ大会・  
[http://park15.wakwak.com/~minamikoma/yokanbe/topics/2010/iwabuti\\_ggolf.htm](http://park15.wakwak.com/~minamikoma/yokanbe/topics/2010/iwabuti_ggolf.htm)
- \*28 : ニッケ全日本テニス選手権 86th・<http://alljapantennis.jp/nikke86th/events.html>
- \*29 : ランドスケープデザイン誌
- \*30 : 東急スポーツオアシス・<http://www.sportsoasis.co.jp/run/>
- \*31 : 株式会社中村製作所カタログ
- \*32 : 株式会社コトブキカタログ
- \*33 : k2ism ブログ・<http://k2n74.exblog.jp/18582437/>
- \*34 : ありトレBLOG・<http://aritore.seesaa.net/article/269547731.html>
- \*35 : フィリップ・カレッジリング&チャンピオンリング・<http://news.philip-collegering.com/?eid=154>
- \*36 : 浦和レッドダイヤモンズ・[http://www.urawa-reds.co.jp/clubinfo/レディースジュニアユース、全日本女子ユース\(U-15\)/](http://www.urawa-reds.co.jp/clubinfo/レディースジュニアユース、全日本女子ユース(U-15)/)
- \*37 : 宇都宮少年ラグビースクール・[http://0902004.team.jrfu-members.com/200809/article\\_3.html](http://0902004.team.jrfu-members.com/200809/article_3.html)
- \*38 : (公財) 日本グラウンド・ゴルフ協会・<http://www.groundgolf.or.jp/about/tabid/79/Default.aspx>